

「生命のがん教育」を実施しました

(令和7年3学期分)

令和7年3学期は24校に出向き、「生命のがん教育」を実施しました。

◆授業形式

- (1) 医療従事者によるがんについての講義 (20分)
- (2) がん経験者のお話 (20分)

◎小学校 (9校)

実施日	実施校	学年	担当講師※
1月13日	城陽市立富野小学校	6	京都岡本記念病院 緩和ケア科副部長 丹波 和奈
1月19日	京都市立美豆小学校	6	京都済生会病院 呼吸器内科医長 大倉 直子
1月20日	京田辺市立薪小学校	6	京都岡本記念病院 緩和ケア科副部長 丹波 和奈
1月20日	宇治田原町立田原小学校	6	宇治徳洲会病院 泌尿器科医員 松下 智紀
1月29日	京都市立第三錦林小学校	5	京都第二赤十字病院 泌尿器科医師 湊 祐哉
1月29日	京都市立山ノ内小学校	6	京都民医連中央病院 消化器内科医師 南 明辰
2月6日	精華町立山田荘小学校	6	京都山城総合医療センター 院長 山口 明浩
2月17日	亀岡市立千代川小学校	6	京都中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹
3月9日	京都市立下鴨小学校	6	京都府立医科大学教育センター 次世代研究者挑戦的研究プログラム特任教授 曾和 義広

<児童の感想>

- ☆ 今回は実際にがんになった人にも話を聞けて、その間どんな気持ちでいたのかも知ることができたので、周りの大切な人たちに日頃から感謝をして過ごしていきたいと思います。
- ☆ がん検診に行ってなどという言葉をかけてあげたい。自分が大切な人の大切な人になれるようにしたい。がん検診に行ける年齢になったらがん検診に行こうと思った。生活習慣に気を付けようと思いました。
- ☆ 授業で学んだことを大切な人に伝える。たばこを吸っている人がいたらその近くにいかない。
- ☆ 困っていたり悩んでいたしたら、話を聞いてあげたり、その人に寄り添ってあげたいと思いました。
- ☆ 周りにいる人ががんや病気になっても面倒だからといって友達をやめるのではなく、周りにいる人と一緒に援助して助け合うことがいと分かった。
- ☆ 早寝早起きをしたり健康に良い食事をしたり、今日のことを思い浮かんだ人に話したい。身近な人を大切にしたいし自分がたばこなどを吸わないようにして、大切な人が吸っていたらすぐに止めたい。
- ☆ 周りの人にがん検診を受けてと呼びかけようと思ったし、自分もがん検診を受けられる年齢になったら、がん検診を受けようと思った。
- ☆ もし友達や家族ががんになった時、私は家族や友達に一人じゃないから大丈夫だよと教えてあげたいし、寄り添ってあげたいと思った。また友達や家族ががんになりにくくなるように、今日教えてもらったことや習ったことをどんどん広めていきたいと思った。
- ☆ 身近にいる大切な人たちにがん検診に行ってもらえるようにする。→早くがんを発見してもらうようにする。

◎中学校 (9校)

実施日	実施校	学年	担当講師※
1月16日	南丹市立美山中学校	2	京都中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹
1月22日	八幡市立男山東中学校	1	京都岡本記念病院 がん性疼痛看護・緩和ケア 認定看護師 北村 和美
1月27日	宮津市立栗田中学校	1・2・3	京都府立医科大学附属北部医療センター 消化器内科医長 吉田 拓馬
1月28日	京都市立洛友中学校 夜間部	1・2・3	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 森田 理美【動画】
1月30日	宇治田原町立維孝館中学校	2	京都岡本記念病院 消化器内科医長 山口 勝利
2月2日	京都市立洛南中学校	2	京都市立病院 総合外科医長 直原 駿平
2月3日	京都市立近衛中学校	1	京都大学医学部附属病院 消化器内科講師 中西 祐貴
2月10日	八幡市立男山第三中学校	2	宇治徳洲会病院 放射線治療センター長 平岡 眞寛
3月6日	井手町立泉ヶ丘中学校	1	山城北保健所 医務主幹 森元 真梨子

<生徒の感想>

- ✧ もっと周りの人を大切にして生きようと思った。伝えることが私の役目でもあると思った。
- ✧ 授業をもとに今後がんだけでなく、病気の人が困っていたら助けられるような人になりたいと思うことができたし、周りの人でも困っていたら手を貸したりできる人になりたいと思った。
- ✧ 自分ががんになれば周りの人たちに頼りたいし、自分の大切な人ががんになれば寄り添ってあげたいです。
- ✧ 今日私はがんについてより詳細な情報を学んだ。またこの授業でいくつかの予防策も学んだ。将来私はがんの認識を広めたい。あとみんなにがんを隠さないことを教えたい(早期治療のためにオープンにすること)。また彼らにがん向き合い、闘う勇気も与えたい。私はみんなに早期治療が大事だって教えます。それは(治療成績に対して)大きな違いを生む。【英語を和訳】
- ✧ がんというだけで離れたたり偏見を持たないようにしようと思いました。優しい心遣いで周りの大切な人、自分の人生に関わってくれた人たちと共に過ごしたいです。
- ✧ がんは早期発見早期治療が大切だと知って、両親に検診は大切だし誰もがなる病気だと分かったので、他人事ではないと伝えようと思いました。もし周りでがんになってしまった人がいたら、その人の気持ちに寄り添って、自分ができる限りの行動をしようと思いました。今日お話ししていただいたように、がんになる、その治療をするということはきっと辛いことだと思うから、楽しいことを一緒に考えたりその人の話を聞いたりしようと思いました。
- ✧ 両親や祖父母には、がんの検診を勧めるとともに、生活習慣を一緒に見直していく機会にしようと思いました。
- ✧ 思いやりのある行動をしたいと思いました。元気でいられることは当たり前じゃないから、今の当たり前に感謝して1日1日を大切にしていこうと思いました。
- ✧ 自分がネガティブな言葉をかけるんじゃないくて、勇気をつけてあげられるような言葉をかけて、いつものように喋りかけることが大切だと思いました！

◎高等学校（6校）

実施日	実施校	学年	担当講師※
1月19日	京都聖カタリナ高等学校	1	京都中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹
1月23日	京都府立工業高等学校	3	市立福知山市民病院 血液内科医長 西山 大地
1月28日	京都府立北桑田高等学校	2	京都府立医科大学大学院 医学研究科教授 武藤 倫弘
2月4日	華頂女子高等学校	1	京都府立医科大学教育センター

			次世代研究者挑戦的研究プログラム特任教授 曾和 義広
2月4日	京都府立朱雀高等学校	2	京都第二赤十字病院 産婦人科部長 煤村 史織
2月12日	京都市立東山総合支援学校	1	京都第一赤十字病院 看護師長 桐谷 眞澄

<生徒の感想>

- ✧ 今はほとんど1日2食の状態だから、3食しっかり食べるようにしたい。自分の生活を見直したいと思った。
- ✧ もっとがんのことについてや病気のことについて詳しく知って、もし周りの人がなった時にその時に正しい行動ができるようにしようと思いました。
- ✧ 早期発見、早期治療のためにはがん検診に積極的な参加が必要なので、周りの人たちにがんについてやがん検診に行く大切さを伝えたいと思った。
- ✧ がんは誰もがなる可能性がある病気で、早期発見早期治療が大切だということを周りの大切な人たちに伝えたいです。
- ✧ 100%予防することは無理でがんになってしまうこともあるから、早期発見早期治療することが大切だから、定期的にごがん検診を受けるのが一番大事なのかなと思った。大切な人に検診を定期的に行ってと伝える。がんになっても支えてくれる人がいるととても救われる。
- ✧ 周りの人や大切な人にがん予防だったり、検診で早期発見することの話をしていきたいなと思いました。

※担当講師の所属・役職は授業実施当時のものです。

「生命のがん教育」の実施を検討されている学校は健康対策課がん対策係までご連絡ください。

TEL：075-414-4766 電子メール：kentai@pref.kyoto.lg.jp